

# 塗料選定ガイド

塗料の樹脂(素材)だけでもたくさんの種類があり、更に様々な機能やオプションなどが存在します。お客様のご希望に合わせたご提案を致します。

Q: 屋根の雨漏りをなんとかしたい

A: 防水塗料をオススメします。  
錆びによる劣化やひび割れ、スレート屋根の欠けやボルト穴に対しても補修可能です。伸縮性のある塗料を使えば過酷な温度変化にも追従し、ひび割れによる雨漏りを防ぎます。



Q: 美観を保ちたいのですが...

A: 低汚染塗料をオススメします。  
紫外線により分解されない性質を持ち緻密で強靱な「無機成分」を配合した塗料です。親水性もあり付着した汚れも落ちやすく長期間美しさを維持します。



Q: 屋根、外壁塗料を調べたら様々な種類が出てきました。どのような塗料を選択すれば良いのでしょうか？

A: 塗料にはそれぞれ特徴があります。  
建物の状況や現状の問題、今後の計画により選択する塗料は異なります。

光触媒	ビュアアクリル	フッ素	シリコン	ウレタン	アクリル
<b>塗料の特長</b> 汚れ防止を優先する方にオススメ。太陽光と雨の自然の力でセルフクリーニング効果があり、環境にも優しい。	<b>塗料の特長</b> 高耐久性でありながら、防水に必要な高弾性を有している非常に優れた塗料。	<b>塗料の特長</b> 耐久性を優先する方にオススメ。長期間にわたり変退色、艶引けがなく、耐久性において最高レベル。	<b>塗料の特長</b> 価格と機能のバランスが良い塗料。カラーバリエーションも豊富。	<b>塗料の特長</b> 一般的によく使われる塗料で価格と機能のバランスが良い塗料。	<b>塗料の特長</b> 値段が安く、定期的に塗り替えを楽しみたい方向きの塗料。
<b>デメリット</b> コストが高めで、光が当たらない場所は、効果が薄くなる。塗膜が硬いため、モルタル壁にはオススメしません。	<b>デメリット</b> トータルメリットは大きいですがコストは高め。純度の高い樹脂を使用した水性塗料の為、冬場の施工には工期がかかる。	<b>デメリット</b> コストが高めで、塗膜も硬いものが多く、ひび割れしやすいので注意が必要です。	<b>デメリット</b> 次の塗り替え時期までの十分な耐久性がなく、建物を守り続けるのに不十分な場合もある。	<b>デメリット</b> 耐久性が劣るので長期的な外観維持には不向き。	<b>デメリット</b> 耐久機能が有効な間は防水機能があるが、外壁を保護する塗料としては、オススメできない。
<b>耐久性の目安</b> 約10年～	<b>耐久性の目安</b> 約10年～	<b>耐久性の目安</b> 約10年～	<b>耐久性の目安</b> 約7年～10年	<b>耐久性の目安</b> 約5年～7年	<b>耐久性の目安</b> 約3年～5年

高

一回の塗り替え価格

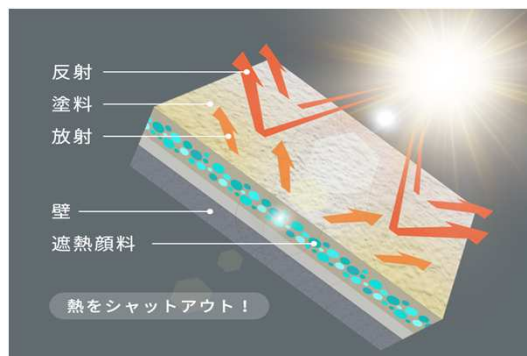
安

※同じ塗料や種類でもメーカーや商品が違えば耐久年数も異なります。※耐久年数は、気候・温度・立地条件などにより変化します。



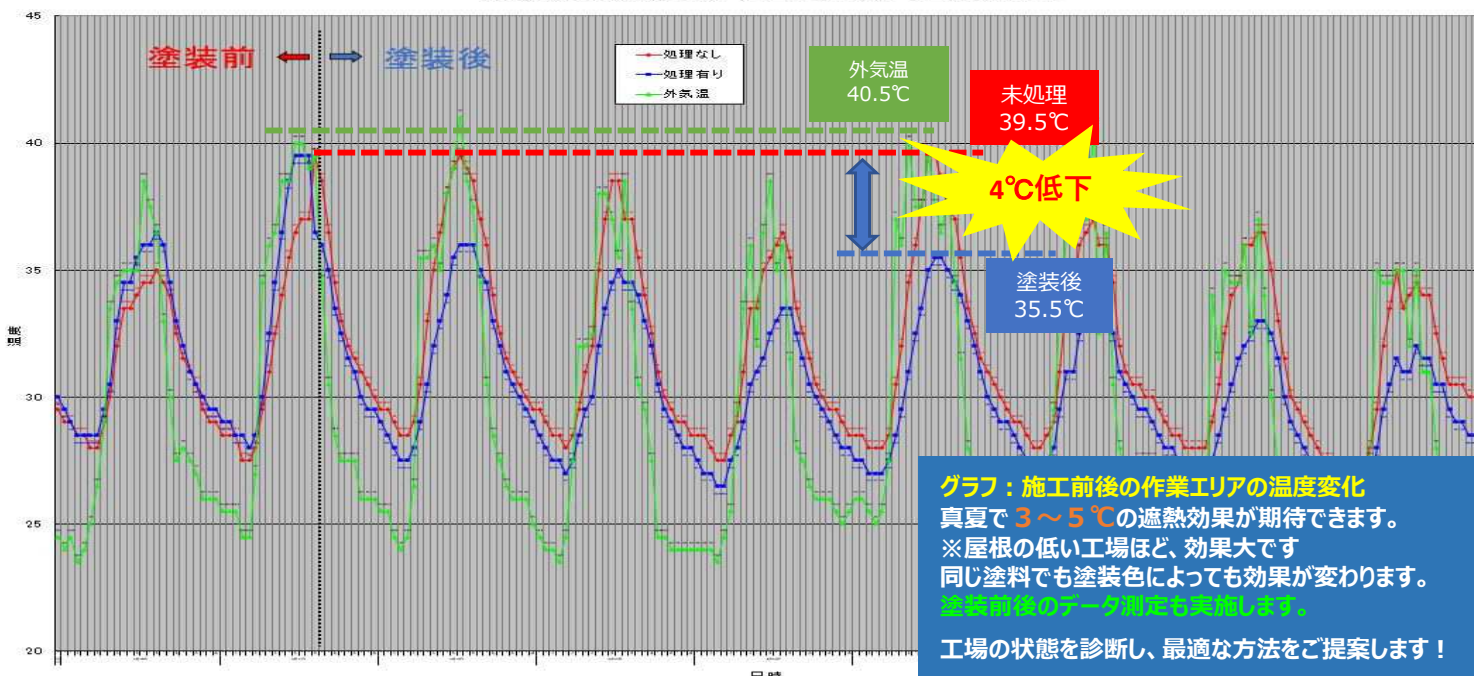
Q:工場内が暑くなんとかしたい

A:屋根・外壁の遮熱塗装をオススメします。  
 温度上昇の原因となる太陽光の「近赤外線」を反射、  
 屋根の温度上昇・室内への熱伝達を抑制します。



## 遮熱塗装 効果実例

屋根遮熱塗装温度比較：地上1.5m付近（工場高さ6m）



Q:工場内温度を下げたいのですが？

A:遮熱塗装をすることで太陽光を反射させ屋根の表面温度が大幅に低下します。(約15～20℃)  
 工場内に伝わる熱量が下がるので、室温の上昇も抑えることができます。(約3～5℃)

Q:遮熱効果は維持できる？

A:塗膜表面が汚れてくると汚れが太陽光を吸収し遮熱効果が損なわれます。  
 洗浄の実施や、低汚染塗料を使用する事で効果が長持ちします。

